



夢に生かさん

武岡台高等学校進路指導部
第7号(1, 2年生)
令和8年2月26日(木)発行

学習実態調査の結果 令和8年1月19日(月)～25日(日)の調査結果です

1年

	39期		38期	37期
	9月	今回	1月	1月
国語	1:44	1:44	2:22	1:52
数学	3:11	4:46	4:35	3:20
英語	3:06	5:14	4:24	3:52
理科	0:07	0:04	0:13	0:24
地公	0:17	0:13	0:13	0:46
情報	0:00	0:05	----	----
商/工	0:02	0:37	5:08	8:33
合計	8:29	12:47	14:15	11:50

平日 1:29, 土曜日 2:31, 日曜日 3:04

- ※ 1年生は、今年度より「情報」も調査しています。
- ※ 専門科目(商業・工業)は、合算して調査しています。

2年

	39期		38期	37期
	9月	今回	1月	1月
国語	1:55	2:11	2:03	1:34
数学	3:50	5:39	3:55	4:43
英語	3:57	5:02	3:42	5:13
理科	0:31	1:21	1:51	1:54
地公	0:26	0:32	0:51	1:04
情報	----	----	----	----
商/工	0:33	2:08	19:16	12:13
合計	11:14	16:56	15:39	16:35

平日 2:00, 土曜日 3:22, 日曜日 3:52

前回調査と比較すると、学習時間が全体的に増加したように見えますが、前回(9月)の調査では1年生の約3分の1が、2年生の約5分の1が未入力でした。その影響が少なからずあるかもしれませんので、今回の結果を過年度と比較してみたいと思います。

1年生は、昨年度の同時期より学習時間が減少しています。増加している教科もありますが、まずは全体的に学習時間の確保が必要なようです。部活動をしている生徒や通学時間の長い生徒は、学習時間の確保が難しい部分もあると思います。しかし、それを言い訳にするのではなく、休日のほか、平日の部活動休息日やバス・送迎の乗車時間、帰宅後の余暇の時間を上手に活用しましょう。

2年生は、過年度と比較すると全体の学習時間が増加しています。教科別では、数学・英語の時間が多く確保されているようです。一方、国語・理科・地公の時間が比較的少ないので、少しずつ時間を増やしていくことも必要です。情報科学科の専門教科については、昨年度の調査期間が検定前だったこともあり差が大きく出ていますが、学習時間はある程度確保できているようです。検定の有無にかかわらず、ほかの教科と同じように継続した学習をしていきましょう。

さて、ここまでは学年ごとの全体的な傾向を見てきましたが、本当に大切なのは自分との比較です。全体と比較して、学習時間が少なければ増やしていく必要があります。平均的、または平均以上の人は、増やす余地はないか、学習の質が悪くないかというところまで目を向けましょう。

今回の調査を自己の学習を見直すきっかけにしてください。

大学入試について

2月25日(水)は国公立大学の**前期日程**の試験日です。今年は武台生約140名が、全国の大学に広く出願しています。やがて皆さんの順番が回ってきます。受験を意識して目の前の問題に取り組みましょう。

3月2日(月)には卒業式を控えています。今日も入試対策に取り組んでいる3年生がいます。**3月8日(日)の中期日程**および**3月12日(木)の後期日程**試験に出願した生徒は、休む間もなく次なる受験に向けて取り組み始めます。

なぜ?前期の結果を待ってもよさそうだけど…。例年、前期の合格発表は3月5日～10日頃です。前期試験の合否を待ちながら、次の受験に備えているのです。卒業式後も後期日程まで国公立大学を受験する先輩たちは学校に登校します。まだ「受験という戦い」が終わっていないからです。

人によっては、今年の受験に納得がいけない!と合格通知が届いても、それを破り捨てる先輩もいます。もう一年かけて自分を磨き上げるのです。ふがいない結果に「納得がいけない」と言えるほどの学習、皆さんはできそうですか。

伸びる生徒の特徴

3年生を卒業式で送り出すと、高校入試のために自宅学習期間(3月3日午後～11日)に入ります。課題は出るけれど学校じゃないし、少しゆっくり過ごそう…。なんて考えてはいませんか。

せっかく時間が取れるのに、学習時間に充てないなんてもったいない。普段の生活では、予習はできても復習ができていない人、多いのではないのでしょうか。この期間を使わない手はありません。

分かってはいるけれどなかなか行動に移せない…。誰かやる気スイッチ押してよ、と思った人。

学習に取りかかるまで時間がかかる → 始めても集中できない
→ 結果的に長い時間苦しんだあげく、結果が伴わない

というパターンに陥っていませんか。嫌なことほど集中し、早く終わるのが一番です。

以下は、本校同様、文武両道を目指すとする進学校の先生が教える、「伸びる生徒」の特徴です。

- ① 集中力がある。(部活動にも勉強にも集中できる生徒は伸びる!)
- ② 時間の使い方がうまい。(ちょっとした時間を活用できる生徒は伸びる!)
- ③ 授業中に寝ない。(授業を受験勉強の時間と捉えて吸収できる生徒は伸びる!)
- ④ 予習・復習を大切にする。(繰り返し学ぶこと・授業の大切さを知る生徒は伸びる!)
- ⑤ 「継続は力なり」を実践している。(コツコツ努力できる生徒は伸びる!)
- ⑥ これまでの勉強が身についている。(積み上げてきた学習の基礎がある生徒は伸びる!)

授業が受けられるときは授業を大切に、長期休暇や自宅学習期間を無駄にしない。これができれば、考査前や受験前だけ無理な学習をして、しかも結果が伴わないなどという苦しみを味わわずに済みます。心身を追い込む無理な学習は、悪くすれば体調を崩しスタートラインにも立てません。それよりは、授業を第一に、継続した短期集中で確実に積み上げをし、休息や娯楽を適度に取り入れる。これが最も効率的な学習方法であると言えるでしょう。来年度へ向けて、充実した年度末にしましょう。